

新テスト元年、コロナ禍のなかでの試験実施と、2021年度は従来とは大きく異なる入試となりました。数字をあげながら説明しましょう。

まず、今年度から新たに導入された共通テストですが、全体の志願者が53万5245人で、昨年度比2万2454人減、受験者は追試験者を含めて48万4114人で、昨年度比でなんと4万2950人の減少となりました。ただし、国公立大学の医学部医学科の志願者と受験者数を見ると、ここ数年連続で減少しているものの、それぞれ2万1883人（263人減）、1万3662人（520人減）と、その前年の大幅な減少と比べると、下げ幅は少し落ちていたように思います。



富士学院では、各科目の講師陣と担任、校舎長などがチームとして生徒情報を共有し連携し合い、今後の方針を共有したうえで指導を行う

特に経営基盤が弱い医学部専門予備校では、その傾向が顕著で、これまでの少子化の影響もあり、潜在的に経営難を抱えている予備校が多くあると思われます。

しかしもつと怖いのは、今年大幅に減った浪人生達が受験をする来年度以降です。18歳人口は今後もずっと減り続けます。医学部の合格定員が変わらない以上、来年度の浪人生

を及ぼしています。それは来年度の合格をめざし、今年新たに浪人したことになります。そのため大手を含めた多くの塾や予備校で、生徒が大幅に減ることになり、深刻な問題となっています。生徒が減った分、経営が苦しくなり、存続のために人員整理や給与のカット、また講師料の引き下げを行っている塾や予備校の話を最近よく耳にします。しかし、そうなると当然講師やスタッフの士気が下がり、それ寄せは全て生徒自身に来ることになります。

は今年以上に減ることになります。確かに浪人生が減り、18歳人口も減少していくことで、受験生にとっては合格のチャンスがますます広がります。しかし一方このことは、塾や予備校にとっては大きな死活問題となり、今後さらなる大きな試練が待ち構えることになります。本期はダンピング合戦となり、それが体力を失うことで経営破綻がさりげたとしても、来年度はもっと厳しい現実が待っています。おそらく事業を縮小したり、つぶれたりする所もあり出でてくるでしょう。そのうえで私が一番心配していることは、目先のお金を得るために、授業料などをどんどんダンピングしてくる塾や予備校が増えていることです。そういう塾や予備校が増えると、行き着く先はダンピング合戦となり、それが体力を失うことで経営破綻がさります。しかし、そうなると当然講師やスタッフの士気が下がり、それ寄せは全て生徒自身に来ることになります。

受験生が減っているとはいっても、まだ難関である医学部合格を勝ち取るために、医学部入試情報を含め塾や予備校の存在は必要不可欠です。だからこそ、どこの塾や予備校を選ぶのかはまさしく合否を分ける大きなターニングポイントとなり、その選択がその後の人生を決めるといつても過言ではありません。

「経営基盤が整っていることを含め、安心して勉強ができる環境なのか」「合格実績にうそや偽りがないのか」「医師になる自覚や覚悟を育める環境があるのか」

など、生徒ご自身や保護者の方の厳しい目で、自身が学ぶ塾や予備校を



予備校のことがあがわかる  
合格体験記と保護者の声

## 少子化やコロナ禍で大きく変わる医学部受験

# 塾や予備校の選択が医学部合格を左右する

コロナ禍の中行われた2021年度入試は、今までの大学入試センター試験から大学入学共通テスト（以下、共通テスト）に切り替わる年でもあり、受験生や保護者にとっては不安の多い入試となつた。コロナの影響が續くなか、2022年度入試はどうなるのだろうか。全国に9校舎を直営校として展開する医学部受験予備校大手の、富士学院・坂本友寛学院長にお話を伺つた。



富士学院 坂本 友寛 学院長

### 志願者減でチャンスが増えるも簡単ではない医学部入試

新テスト元年、コロナ禍のなかでの試験実施と、2021年度は従来とは大きく異なる入試となりました。

数字をあげながら説明しましょう。

まず、今年度から新たに導入された共通テストですが、全体の志願者が53万5245人で、昨年度比2万2454人減、受験者は追試験者を含めて48万4114人で、昨年度比でなんと4万2950人の減少となりました。

ただし、国公立大学の医学部医学科の志願者と受験者数を見ると、ここ数年連続で減少しているものの、それぞれ2万1883人（263人減）、1万3662人（520人減）と、その前年の大幅な減少と比べると、下げ幅は少し落ちています。

度比でなんと4万2950人の減少となりました。

ただし、国公立大学の医学部医学科の志願者と受験者数を見ると、ここ数年連続で減少しているものの、それぞれ2万1883人（263人減）、1万3662人（520人減）と、その前年の大幅な減少と比べると、下げ幅は少し落ちています。

### コロナ禍の医学部入試は総合力が求められた

対して私立大学の医学部医学科の志願者・受験者状況は、まだ受験者数については正式に発表していない大学が若干ありますが、志願者数は9万1223人で昨年度より9403人も大幅な減少となりました。今年度は獨協医科大学が受験日を1日増やし、聖マリアンナ医科大学が新たに後期試験を導入しているので、単純な昨年度との比較でいうと1万人以上の減少となります。これは少子化だけではない様々な要因が考えられますが、一つの大きな要因としては、やはりコロナ禍の影響が

対して私立大学の医学部医学科の志願者・受験者状況は、まだ受験者数については正式に発表していない大学が若干ありますが、志願者数は9万1223人で昨年度より9403人も大幅な減少となりました。今年度は獨協医科大学が受験日を1日増やし、聖マリアンナ医科大学が新たに後期試験を導入しているので、単純な昨年度との比較でいうと1万人以上の減少となります。これは少子化だけではない様々な要因が考えられますが、一つの大きな要因としては、やはりコロナ禍の影響が

対して私立大学の医学部医学科の志願者・受験者状況は、まだ受験者数については正式に発表していない大学が若干ありますが、志願者数は9万1223人で昨年度より9403人も大幅な減少となりました。今年度は獨協医科大学が受験日を1日増やし、聖マariaンナ医科大学が新たに後期試験を導入しているので、単純な昨年度との比較でいうと1万人以上の減少となります。これは少子化だけではない様々な要因が考えられますが、一つの大きな要因としては、やはりコロナ禍の影響が

対して私立大学の医学部医学科の志願者・受験者状況は、まだ受験者数については正式に発表していない大学が若干ありますが、志願者数は9万1223人で昨年度より9403人も大幅な減少となりました。今年度は獨協医科大学が受験日を1日増やし、聖マariaンナ医科大学が新たに後期試験を導入しているので、単純な昨年度との比較でいうと1万人以上の減少となります。これは少子化だけではない様々な